

令和5年2月27日

核燃料施設等事業者等各位

原子力規制庁  
核燃料施設等監視部門

原子力施設における可搬型設備の点検状況等について（依頼）

## 1. はじめに

令和4年度第67回原子力規制委員会（令和5年2月1日）のトピックスにおいて、核燃料施設等で発生した消防車の火災事象について報告した際、原子力規制委員会からの指示により、可搬型設備（モバイル設備）の点検項目やトラブルの実態を調査し、報告することとなりました。

つきましては、以下に記す情報について提供いただくようお願いいたします。

## 2. 依頼内容

### (1) 車両点検の実施状況

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規制対象となる各原子力施設（「4. 調査対象施設」に記載する施設）で管理されている車両（火災の消火に係るもの、電源確保に係るもの等の原子力安全に直接関わる車両を対象とし、単に人を運ぶだけの車両等は除く。また、正に車の部分だけを対象とし、車載されているポンプやタンク、電源等は除く。）について、以下の情報を提供してください。

- a. 一般的な車両点検を実施しているか（「○」、「×」、または「車両なし」）
- b. 「a.」の点検は何に基づいて行っているか（「〇〇法」、「メーカーの推奨」など。）
- c. 上記「a.」「b.」の点検とは別に実施している点検はあるか（「～の点検」など。実施していない場合は「×」）

### (2) 可搬型設備（車両含む）において過去に発生した主なトラブルの情報

可搬型設備（施設管理実施計画や防災業務計画に定める可搬型設備及び

上記（１）の車両を対象とする。）において過去（原子力規制委員会の発足した平成 24 年 9 月から令和 5 年 2 月 21 日まで）に発生した主なトラブルについて、以下の情報を提供してください。

- a. 設備名（「消防車」、「可搬型モニタリングポスト」など。名称だけでは機能・用途が分かりにくいものについては、簡単な説明を付記する。）及びトラブルの内容（「エンジンからの油漏れ」、「ケーブルの断線」など。）（外部に公表したものを対象とする。）
- b. 外部に公表しない程度の軽微なトラブルの例（軽微だが、発生頻度の高いものなど。「a.」と同様に簡単に記載する。）

### **3. 回答方法及び回答期限**

添付回答様式に記入の上、令和 5 年 3 月 17 日（金）までに下記連絡先に提出をお願いいたします。なお、事業者等において可搬型設備（車両含む）を施設単位ではなく敷地単位や事業所単位で管理している場合は、任意の単位でまとめて回答できることとします。

#### **【回答提出先及び問合せ先】**

Mail : kakukan@nra.go.jp  
TEL : 03-5114-2115

### **4. 調査対象施設**

建設段階・廃止措置段階、リスクの大きさ、国民の関心等の施設状況を踏まえ、調査対象とする施設は、以下の通りとします。

#### **（１）加工施設**

- a. 株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン 加工施設
- b. 三菱原子燃料株式会社 加工施設
- c. 原子燃料工業株式会社 熊取事業所 加工施設
- d. 原子燃料工業株式会社 東海事業所 加工施設
- e. 日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設
- f. 日本原燃株式会社 再処理事業所 MOX 燃料加工施設

#### **（２）試験研究炉**

- a. 日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所 JRR-3
- b. 日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所 原子炉安全性研究炉（NSRR）
- c. 日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所 定常臨界実験装置（STACY）

- d. 日本原子力研究開発機構 大洗研究所 高温工学試験研究炉 (HTTR)
- e. 日本原子力研究開発機構 大洗研究所 高速実験炉 (常陽)
- f. 京都大学 複合原子力科学研究所 研究用原子炉 (KUR)
- g. 京都大学 複合原子力科学研究所 臨界実験装置 (KUCA)
- h. 近畿大学 原子力研究所 近畿大学原子炉

### **(3) 研究開発段階発電用原子炉**

- a. 日本原子力研究開発機構 新型転換炉原型炉ふげん
- b. 日本原子力研究開発機構 高速増殖原型炉もんじゅ

### **(4) 再処理施設**

- a. 日本原燃株式会社 再処理事業所
- b. 日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所再処理施設

### **(5) 第二種廃棄物埋設施設**

- a. 日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 1号廃棄物埋設施設
- b. 日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 2号廃棄物埋設施設
- c. 日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所 廃棄物埋設施設

### **(6) 廃棄物管理施設**

- a. 日本原燃株式会社 再処理事業所 廃棄物管理施設
- b. 日本原子力研究開発機構 大洗研究所 廃棄物管理施設

### **(7) 核燃料物質使用施設**

- a. 日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所 使用施設
- b. 日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所 使用施設
- c. (公財)核物質管理センター 東海保障措置センター 使用施設
- d. MHI 原子力研究開発株式会社 使用施設
- e. 日本原子力研究開発機構 大洗研究所 (北地区) 使用施設
- f. 日本原子力研究開発機構 大洗研究所 (南地区) 使用施設
- g. 日本核燃料開発株式会社 使用施設
- h. 日本原子力研究開発機構 人形峠環境技術センター 使用施設

## **5. その他**

本調査にて収集した情報は、整理した上で原子力規制委員会に報告させていただきます。

原子力施設における可搬型設備の点検状況等についての回答様式

(0) 施設種別、問合せ先等

事業者名	
施設名	
担当者氏名	
担当者TEL	
担当者Mail	

(1) 車両点検の内容

↓この列は、場合分けが必要な場合に適宜利用してください。	a. 一般的な車両点検を実施しているか（「○」、「×」、または「車両なし」）	b. 「a.」の点検は何に基づいて行っているか（「○○法」、「メーカーの推奨」など）	c. 上記「a.」「b.」の点検とは別に実施している点検はあるか（「～の点検」など。実施していない場合は「×」）

(2) 可搬型設備（車両含む）において過去に発生した主なトラブルの情報（平成24年9月～令和5年2月21日まで）

a. 設備名（「消防車」、「可搬型モニタリングポスト」など。名称だけでは機能・用途が分かりにくいものについては、簡単な説明を付記する。）及びトラブルの内容（「エンジンからの油漏れ」、「ケーブルの断線」など。）（外部に公表したものを対象とする。）	

b. 外部に公表しない程度の軽微なトラブルの例（軽微だが、発生頻度の高いものなど。「a.」、「b.」と同様に簡単に記載する。）